

ファッションおぎわら

☎62-0019 所在地：大字皆野2476

大正5年に呉服屋として創業し、現在は婦人服販売店を営む「ファッションおぎわら」を黒澤町長が訪問しました。



Instagram



新商品「あなたによりそうガーゼマフラー」を開発しました。売れ筋商品であった“手ぬぐい”の使い道をお客様に聞いたところ、首に巻くという意見があったことから開発した商品です。試作品をお客様に配布し意見を聞き、改良を重ねながら作り上げられた“お客様に寄り添った商品”です。

地域で長く営業を続ける秘訣は、「交流」であると考えています。買い物だけではなく顔を見せに来てもらえれば、会話の中から新商品が生まれることもあるため気軽に来てもらいたいです。

また、人が集まる取組みとして、毎年5月の母の日には「ごほうびマルシェ」を開催しています。近隣の店舗と協力し商店街として盛り上げていきたいです。



代表の佐藤 光枝氏と神辺 理恵氏

※町内でがんばる企業を町長が訪問します。訪問を希望される場合は産業観光課(☎62-1462)へお問い合わせください。

皆野高校の部活動
皆野高校の軌跡をたどるうえで、部活動の活躍は欠かせません。昭和42年度(開校2年目)、現在の皆野町役場にあった旧皆野中学校校舎に移転し、この年、ホッケー部は関東大会・全国高校総体へ出場し、関東・全国レベル常連校となります。また、弓道部も県新人戦団体3位。その後、両部は全国制覇を成し遂げました。男女ともにホッケー部は関東大会優勝、全国高校総体優勝。男子は平成16年度まで36年連続全国高校総体出場の大記録を収めます。弓道部女子も全国高校総体優勝、国体優勝を果たし、他の運動部も全国・関東レベルで実績をあげています。文化部も昭和54年度には珠算部が全国大会出場を皮切りに、他の文化部も複数部が全国へ出場しています。

これらの黄金期復活を目指し現在まで活動してきましたが、生徒数減少もあり達成できませんでした。しかし、各部の伝統・精神は引き継がれています。

ありがとう皆野高校
令和4年10月、「魅力ある県立高校づくり第2期実施方策」により県立高校12校が6校に統合される再編整備が公表されました。本校は令和7年度末

5/5 皆野高校 60年を振り返る

皆野高校は令和8年3月で閉校舎となり、4月からは秩父高校と統合して歴史をつないでいきます。5回にわたり振り返ってきた60年の歩み、今回が最終回です。



在校生と卒業生の交流イベント(令和7年4月27日開催)

寄稿 皆野高校校長 浅見和義

で閉校舎、令和8年4月に新・秩父高校として統合します。開校36年目までは飛躍・充実・発展の時期で、入学者数最多の平成元年度には3学年の合計生徒数は713人でした。産振棟、情報処理棟、格技場、グラウンド拡張、コンピュータ整備など施設も充実し、すばらしい環境下で最高の教育が行われていました。しかしその後、入学者数は減少傾向となり令和4年度に再編整備が発表されました。

令和5年度に最後に入学した生徒は、後輩がいないため今年度は自分たちのみの学校生活。それでも、皆野高校の歴史と伝統を受け継ぐ、アンカーズとして、本校だからこそ取り組むことができた経験を生かしそれぞれの目標に向かって進んでいます。皆野町をはじめ多くの関係者の皆さんの熱い思いで設立した高校。本校の精神はまだまだ生き続けていきます。「ありがとう皆高」、そして4月からは次のステージへ向かいます。